

HCI プログラミングレポート課題

HCI プログラミングで学んだことをもとにして GUI アプリケーションを作成しましょう。

■アプリの内容について

「効率」です。過去の作品と酷似しないこと、但し大幅な機能追加や改良は除きます。

■報告書について

報告書は4項目からなり、**A4 二枚まで**にまとめます。4項目は「アプリの名称」と「アプリの概要」、「アプリのデモ」、「考察」です。各項目の内容は次のとおりです。

- アプリの名称 アプリの機能を明確に表す名前を付けます（1行）
- アプリの概要 どのような機能（主機能）をもつのかを数行で記述します（3行以内）
- アプリのデモ 動作画面のスクリーンショットを貼り操作方法を解説します
※アプリの採点対象の各部品がどのように使われているのかを必ず説明します
例えば、「検索ボタンを押したら、処理結果が結果ラベルに表示される」など
- 考 察 次の4点について記述します（5行以上）
1.工夫した点 2.アプリの感想〔2名以上〕 3.感想の分析 4.今後の展開

※講義用ページに Word のテンプレートを準備していますので必ずこれを用いて作成しましょう

※Word テンプレートの1ページ行数や1行文字数、フォント、フォントサイズ、上下左右のマージンの変更は禁止です

■レポート評価〔100点〕=アプリ基礎点〔70点〕+報告書〔30点〕+アプリ完成度〔10点〕

★アプリの基礎点〔70点〕基準：

以下の項目が**有効**にアプリに実装されている場合に加点し評価とします。

- +10点 イメージ（ラベルやボタン、チェックボックス、ラジオボタン、メニューのアイコン表示、キャンバスの画像表示のいずれか）の利用
- +10点 レイアウト（FlowPane, HBox, VBox, BorderPane, GridPane のいずれか）を利用し、2つ以上の GUI 部品（Node クラスのサブクラス（レイアウトを含めず））の配置
- +10点 ウィンドウイベント、マウスイベント、アクションイベントのいずれかの利用
- +10点 ボタン、チェックボックス、ラジオボタンのいずれかの利用
- +10点 メニュー、ポップアップメニューのいずれかの利用
- +10点 テキストフィールドの利用
- +10点 キャンバスの利用（メニューやボタン、マウスなどに連携した動的な要素が含まれること）

※加点は対応する GUI 部品が有効に使用されていることが必須です。テキストフィールドを貼りつけたのみでこのフィールドのデータを他の処理に使用しない場合は、テキストフィールドの加点は行いません

※画像ファイルを用いる場合は著作権に注意しましょう

※コンパイルエラーや画像ファイルなどの不足により**実行が確認できない場合はレポート評価を0点**とします

※アプリの内容が**出席課題や発展課題、過去の作品に酷似したものはレポート評価を0点**とします

※皆さんと教えあひながらのアプリ制作は大変に良いです。

※ただし、コードのコピーなどにより**全体にわたり酷似したコードの場合はお互いにレポート評価を0点**とします。

★報告書の採点〔30点〕基準：

報告内容が**アプリで確認できる**ことが採点の前提です。

各4項目の配点を順に5点、5点、10点、10点とします。十分に記載されている場合（5点または10点）から不十分な場合（0点）として評価を行います。

★アプリの完成度〔10点〕基準：※レポート評価が100点を超えた場合は100点で打ち切ります。

実装された個々の機能がアプリの主機能に十分に関わっている、かつ主機能を実現するために必要な機能が十分に揃っている。

■提出先と提出期限

提出先 WingNet 上の提出箱「HCI★レポート課題」へ **※期限 1週間前に設置します**

- アプリファイル一式（.lzh または .zip で圧縮したもの）
※ソースファイル（.java）の他、画像ファイルなど**必要なファイル**を同じフォルダに置き動作をするようにします。本フォルダを圧縮して1つのファイル（.lzh または .zip）にまとめアップしてください。
- 報告書ファイル（.pdf）
※Word の〔名前を付けて保存〕から pdf 形式を選択してください。Word ファイルは減点（7割）します。

提出期限 **2023年1月30日（月）23:59**